

一歩進める 一般開業医の歯内療法

～細菌学的思考で解決に導くEvidenceとTechnique

ここがPoint!

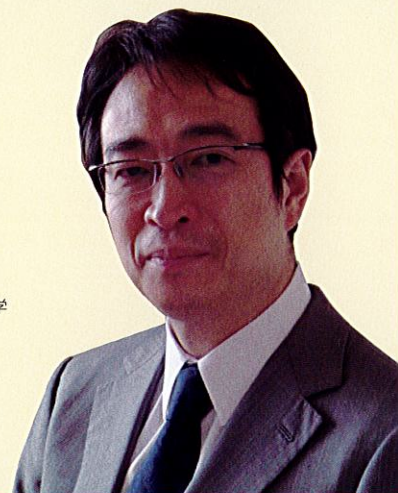
- 経過不良症例への対応: 症状が消えない原因とは?
- 感染源除去及び根管清掃の質を高めるために必要な手技
- 成功率を高める解剖学的根管形態が維持された根管拡大形成とは?
- 細菌学的本質を捉えた根管充填とその後の感染を防ぐ支台築造
- 歯内療法の情報を歯冠補綴に生かす

講師ご略歴

阿部修 先生

平和歯科医院 [東京都開業]

- 2000 東京歯科大学 卒業
- 2000 医療法人社団 平和歯科医院勤務
- 2002 東京歯科大学 大学院(微生物学)
- 2006 東京歯科大学 大学院修了 歯学博士
- 2006 東京大学医科学研究所 幹細胞組織医工学研究部門 客員研究員(～2008)
- 2006 医療法人社団 平和歯科医院開業 東京歯科大学非常勤講師
- <現在>
- ・日本歯内療法学会国際交流委員会(2016～)
- ・関東歯内療法学会常任理事(2017～)



歯内療法をしたにも関わらず咬合時痛や打診痛が消えない、違和感が消えない等、いわゆる難症例には分類されないような日常的症例の中にも、数多くの治りにくく、難しい症例が存在しています。そのような症例が抱える問題はどこにあるのでしょうか? どうすれば解決に導くことができるのでしょうか。

近年、マイクロスコープやCBCT、NiTiロータリーファイル等の治療機器は著しい進化を遂げ、その普及率も格段と高まっています。そして数多くの研究報告の蓄積により、私たちがEvidence basedな歯内療法を行うための方法論はほぼ確立しているといっても過言ではありません。

しかしながら、そうした恵まれた環境の中においても、前述のような治りにくい症例は決して少なくありません。それはなぜでしょうか。そもそもなぜ抜髄に至るのか、なぜ再根管治療が必要となるのでしょうか? その根本的原因は「細菌感染」であることに疑いはありません。つまり、その治療のターゲットは根管内細菌の感染制御にあります。

細菌学的に歯内療法を捉え、細菌学的に理にかなった根管内の感染制御を行うためには、具体的に何をどうすべきなのでしょうか? 細菌学出身としての立場から、その勘所を示したいと思います。

お申し込み方法

配信元 WHITE CROSS

お申し込みにはWHITE CROSSの会員登録が必要です。登録は無料で行えます。

定員 なし

対象 歯科医師・歯科技工士
歯科衛生士・歯科助手

倶楽部に入会してお申し込み

※1) 2022年度トクヤマデンタル倶楽部にご入会いただくと、このセミナーから無料でご視聴いただけます。年会費は(税込5,500円)です。会費は販売店様経由でのご請求となります。

1 下記のQRコードよりお申し込みください。



●セミナー受講料: 無料 ※倶楽部会員価格
倶楽部の会費については、後日販売店様よりご連絡がございます

URL

https://tokuyama-dental.bizsupport.biz/web_form2/form/0904c.php

2 トクヤマデンタル倶楽部より、無料※1にてお申し込みいただけるURLを自動返信にてご案内いたします。メールをご確認の上視聴お申し込みをお願いいたします。

※連絡がない場合はメール不達の可能性がございますので弊社までご連絡ください。

3 視聴お申し込み手続きが完了しましたら、配信元より、ご登録のEメールアドレスにご視聴用URLをご連絡いたします。

倶楽部に入会せずお申し込み

1 トクヤマデンタル倶楽部に入会されない先生は、右記QRコードからお申し込みください。

●受講料: 11,000円(税込)

<https://www.whitecross.co.jp/events/view/2085>



2 視聴お申し込み手続きが完了しましたら、WHITE CROSSより、ご登録のEメールアドレスにご視聴用URLをお送りいたします。

【Webセミナーお申込み・開催に関する注意事項】 下記をお読みいただき、同意の上お申し込みください。

- セミナーお申込み後、配信会社より視聴に関するご案内がございます。ご案内のない場合はメール未着の可能性もありますので、ご面倒をおかけいたしますが配信会社へお問合せください。
- 申込欄にご記入いただきました個人情報は、弊社「個人情報保護方針」に従って厳正に管理し、ご本人様が拒否された場合を除いて、製品・サービスのご紹介を含むマーケティング活動に利用させていただきます。
- 講演会は、やむを得ず中止する場合がございます。その場合、通信費等のかかる費用の補償はいたしませんので、予めご了承ください。